

自治体名		埼玉県秩父市				
本事業の担当部局名		総合政策部総合政策課				

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.3 結婚支援事業者との官民連携型結婚支援						
個別事業名		結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)		772,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	772,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		772,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	2,000	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	2,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	460,000	310,000	0	0	0	772,000	
	対象経費支出予定額	460,000	310,000	0	0	0	772,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 過年度に引き続き、男女に対し出会いの機会を提供する事業として婚活イベントを継続、県の結婚支援センターである恋たまへの登録促進を行う。子育てと仕事の両立がしにくい環境が若年層の転出に繋がっている課題に対し女性の働きやすい環境の整備ならびに転出者も含めた若年層へアンケート調査・インタビューを行い翌年度以降の効果的な事業の実施につなげる。 また、結婚新生活支援事業を実施し、結婚を希望する男女への補助金交付を行うことで、結婚に伴う費用に関する経済的な不安を解消する。 ＜本個別事業の位置付け＞ 男女に対し出会いの機会を提供する事業として婚活イベントを継続、県の結婚支援センターである恋たまへの登録促進を行う。また、結婚を希望する若い世代に対し、婚活の悩みに沿った結婚支援事業者によるセミナーの実施、及びイベント参加後の婚活相談などの機会を設け、伴走型支援を導入する。市が行うイベントでは民間事業者の知見を活用すべく結婚支援事業者をファシリテーターとして呼び、参加者への支援を行っていただく。今年度からはLINEによる情報発信頻度を増やし参加者増を目指す。							

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	婚活支援セミナー	婚活のプロによるセミナーを通じ、婚活における悩み等に対して寄り添い、相談相手としてアドバイス等を行い、モチベーションを上げ成婚へつなげられるよう支援する。セミナーの後に個別相談の機会を設けるなど、市の主催するセミナーを通じ、民間事業者の知見により結婚を希望する若い世代の悩み解消を目指す。
	2	婚活イベント	過年度アンケートより、地元での婚活イベントは参加している姿を知人に見られる可能性があるとの意見を反映し、市外へのバスツアーなどの婚活イベントを実施する。飲食や共同作業をしながら交流し、最後に引き合わせ(マッチング)を行う。イベントにおいては民間事業者にファシリテーターとして参加して頂き、参加者への声掛けやサポート、およびイベント最後のマッチング前に個別にヒアリングを行い相手選びへの助言をしていただくなど、民間事業者の知見を活用する。 参加者募集においては地元結婚当事者(NPO含む)・恋たまと連携し募集を行い、一部イベント後に地域の結婚相談当事者(NPO含む)へ無料で婚活相談できる機会を付与し、伴走型の支援を官民連携して行う。
	3		
	＜過年度の個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞ ・イベント後アンケートにより、地元での婚活イベントに対し、女性から知人に見られたくないため参加しづらいとの意見(課題)が見られたため、市外での開催と変更する。 ・イベント後アンケートにより、女性のイベント参加の決定要因として費用が安いことが浮かび上がってきたため、女性の参加費の軽減を行い、女性参加率向上の取り組みを行う。 ・過年度イベントにて、最後のマッチングで相手を選ぶ際にとても悩む、自分の選びたい相手が自分を選んでくれないとの声があったため、最終マッチング前にファシリテーターを務める民間事業者による悩みヒアリングの個別面談、女性が希望する男性を呼び出でのラスト1対1トークタイムを設けたところ好評であったため、今年度はすべてのイベントに取り入れる。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.5 (R7年度)	1.06

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.06 (R4年)	
	婚姻件数		件	161 (R5年)	
	婚姻率			2 (R5年)	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	セミナー参加者数	人	20 (R7年度)	12 (R6年度)
	②	イベントの参加者数	人	96 (R7年度)	46 (R6年度見込)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R7年度)	96 (R6年度見込)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	ラインでのイベント周知回数	回	12 (R7年度)	8 (R6年度見込)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					